



広報・監察部担当になって早いもので2年が経ちました。非行政書士の排除から広報活動、隔月での会報発行と大変忙しい日々ではありましたが、部長を中心に一致団結、素晴らしいチームワークで会務を遂行できたと確信しています。すべてに感謝！次チームにバトンを渡そうと思います。

(広報・監察部担当副会長 嶋田 広一)

私達が編集に携わり、今回が最終号となりました。出来るだけわかりやすく、読みやすい誌面になるよう部員一同で心がけてきましたが、果たしてそのとおりにいったかどうか・・・？振り返れば、反省の多い2年間であったと思います。

しかし、ご協力いただいた本会役員・各支部長・各支部通信員の皆様には大変お世話になりました。そして何よりも、「行政茨城」をご覧いただいた会員の皆様に心から御礼を申し上げまして、挨拶といたします。

(広報・監察部長 遠藤 実)

広報誌の編集という初めての経験は、たくさんの記事を集めて雑誌を作っているようでもあり、とても刺激的で楽しいものでした。地道な作業を積み重ねていただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(広報・監察副部長 安 圭一)

この5月号をもちまして、広報・監察部員として2年の任期を無事終えることができそうです。会員の皆様に、読みやすく心待ちにして頂ける会報誌を目指して、毎号、広報部長のもと編集活動を行ってまいりましたが、改善の余地も多々あったかと思えます。

「行政茨城」が、さらに時代のニーズに沿った広報誌となりますよう、祈念いたすとともに、今まで支えて頂きました皆々様に、心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(広報・監察部 小嶋 幸江)

早いもので、今月号をもって「行政茨城」の編集も最後となりました。「読みやすく親しみやすい誌面」を目指してきましたが、毎号親しみをもって誌面をめくっていただけたでしょうか。

さらなる読みやすい誌面は次の委員の方々に任せて、私は赤ペンを置かせていただきます。ご精読ありがとうございました。

薫風香る五月の爽やかな風とともに、5月号を皆さまのお手元にお届けできることを願いつつ・・・。

(広報・監察部 渡邊 律三)